

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	保健課	事業No.	137
事務事業名		健康診査事業	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分
			開始	終了	継続
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		6	「市民総健康」と「生涯現役」をめざす	
	分野別計画			地域健康ケア計画	
				飯田市版総合戦略	
法令・例規等			健康増進法		
			がん対策基本法		
			高齢者の医療の確保に関する法律		
事業目的	対象	職場等で検診（健診）受診の機会のない市民			
	意図	疾病を早期に見出し治療につなげる			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
	・がんを早期発見し治療につなげるために、がん検診を実施しました。（胃、大腸、乳、肺、子宮、胃がんリスク） ・がん検診受診率向上のための普及啓発、個別の受診勧奨を行いました。また、受診しやすいよう土曜日の日程を設定（胃、大腸、乳がん、胃がんリスク）しました。令和元年度より妊婦健診での子宮がん検診結果の把握を行いました。 ・電話、文書等でがん検診の精密検査対象者へ受診勧奨及び状況把握を行いました。 ・後期高齢者保険加入者を対象とした健康診査を飯田医師会に委託し実施しました。 ・医療にかかってない76歳の方へ受診勧奨を実施しました。		事業補助員賃金			1,433				
			研修会等出張旅費			23				
			検診票作成等消耗品			298				
			印刷製本費			1,974				
			通信運搬費			6,840				
			委託料			70,024				
			会場使用料			1				
			その他の経費			341				
			活動指標		指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
					計画	実績	計画	実績		
		がん検診受診者数	人	23,000	27,518	27,500	27,250	27,500	28,051	
		後期高齢者健康診査受診者数	人	300	138	300	218	300	360	
1年度決算(千円)		予算額	84,248	特定財源内訳及び補足事項						
		決算額	80,934	がん検診						
		財源の状況	国庫支出金	737	(国)がん検診推進事業補助金(国1/2)					
			県支出金	4	(そ)がん検診実費負担金 1,362千円					
			地方債	0	高齢者健康診査事業					
			その他	4,062	(県)健康増進事業補助金(国1/3、県1/3)					
		一般財源	76,131	(そ)後期高齢者健康診査事業受託金 2,700千円						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	3	11	5	71,557	69,039	がん検診事業費
2	1	4	1	3	11	9	4,851	4,434	高齢者等健康診査事業費
3	1	4	1	3	12	1	7,840	7,461	結核予防事業費
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		子宮頸がん・大腸がん・乳がん(マンモグラフィ)検診の受診者数は前年度に比べ増加しました。これは申込み者で未受診の方へ受診勧奨を実施した効果だと思われます。胃がん検診は年々、申込者、受診者ともに減少しており、他機関で受診する方やバリウム検診の対象とならない方が増えていることも考えられます。後期高齢者健診は受診者が目標の300人を超えましたが、まだ認知度が低いと思われます。							
上記の課題解決のための有効策		受診者の減少を防ぐためには、申込者で未受診の方へ個別に受診勧奨を行うことが有効なため、申込者へ効果的に受診勧奨を行う必要があります。後期高齢者健診は継続して受診勧奨を実施していく必要があります。							
次年度に向けての取り組み		地域健康ケア計画のリーディング事業として乳がんの受診勧奨と自己触診の普及を重点に、個別通知による受診勧奨やまちづくり委員会と協働し、家族ぐるみで取り組むがん対策を推進します。がん検診の精密検査受診率を上げるため、電話・文書で受診勧奨を行います。後期高齢者へは75歳～79歳の医療・介護未利用の方へ受診勧奨を実施します。							